

学習指導要領		杉並工業高校 学カスタンダード
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	α：社会問題等について、調べた内容を参考にして自分の考えをもち、根拠に基づいて話すことができる。 β：社会問題等について調べた内容を参考にして、根拠に基づいて話すことができる。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	α：目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。 β：目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したりすることができる。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	α：相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、円滑に話し合うことができる。 β：相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、話し合うことができる。
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	α：自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。 β：自己評価や相互評価を通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	α：誰に向かって何のために書くのかを考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。 β：誰に向かって何のために書くのかを考え、書くことができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	α：論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えをその根拠と結び付けて文章にすることができる。 β：論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えを文章にすることができる。

学習指導要領	杉並工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>	<p>α：説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。 β：説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。</p> <p>α：自他の文章への評価を通して、自分の表現を見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。 β：自他の文章への評価を通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <p>【現代文】 α：文章の形態（小説・評論・韻文など）における表現の特色を意識しながら読むことができる。 β：表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <p>【古典】 α：比較的短く平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。 β：比較的短く平易な文章について、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。</p> <p>【現代文】 α：文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。 β：文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったりすることができる。</p> <p>【古典】 α：比較的短く平易な文章を、基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意して、傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。 β：比較的短く平易な文章を、傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。</p>

学習指導要領		杉並工業高校 学カスタンダード
伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	<p>【現代文】</p> <p>α：登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化をとらえることができる。</p> <p>β：登場人物を押さえ、行動や性格をとらえることができる。</p> <p>【古典】</p> <p>α：比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。</p> <p>β：比較的短く平易な文章から誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。</p>
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	<p>α：様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。</p> <p>β：様々な文章の構成や展開を確かめ、書き手の主張をとらえたりすることができる。</p>
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	<p>α：様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>β：様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、自分の考えをもつことができる。</p>
	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項</p>	<p>α：日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <p>β：日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知ることができる。</p> <p>α：基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>β：基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読を行うことができる。</p>

学習指導要領		杉並工業高校 学カスタンダード
<p>に 関 する 事 項</p>	<p>(ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>【現代文】 α：語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。 β：語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。</p> <p>【古典】 α：言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。 β：言葉の歴史的な成り立ちと変遷について基本的な事柄を知る。</p> <p>【現代文】 α：文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 β：文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知ることができる。</p> <p>【古典】 α：古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な古語や漢語の意味を知る。 β：古語辞典や漢和辞典を引くことができる。</p> <p>α：漢字検定5級程度の読み書きができ、文や文章の中で使うことができる。 β：漢字検定5級程度の読み書きができる。</p>